



文部科学省

令和4年3月5日（土）
第84回情報処理学会 全国大会

新学習指導要領に対応した令和7年度大学入学共通テスト における「情報Ⅰ」について

文部科学省高等教育局大学振興課大学入試室長
前田 幸宣

令和6（2024）年度実施の大学入試に向けたスケジュール



大学入試のあり方に関する検討会議

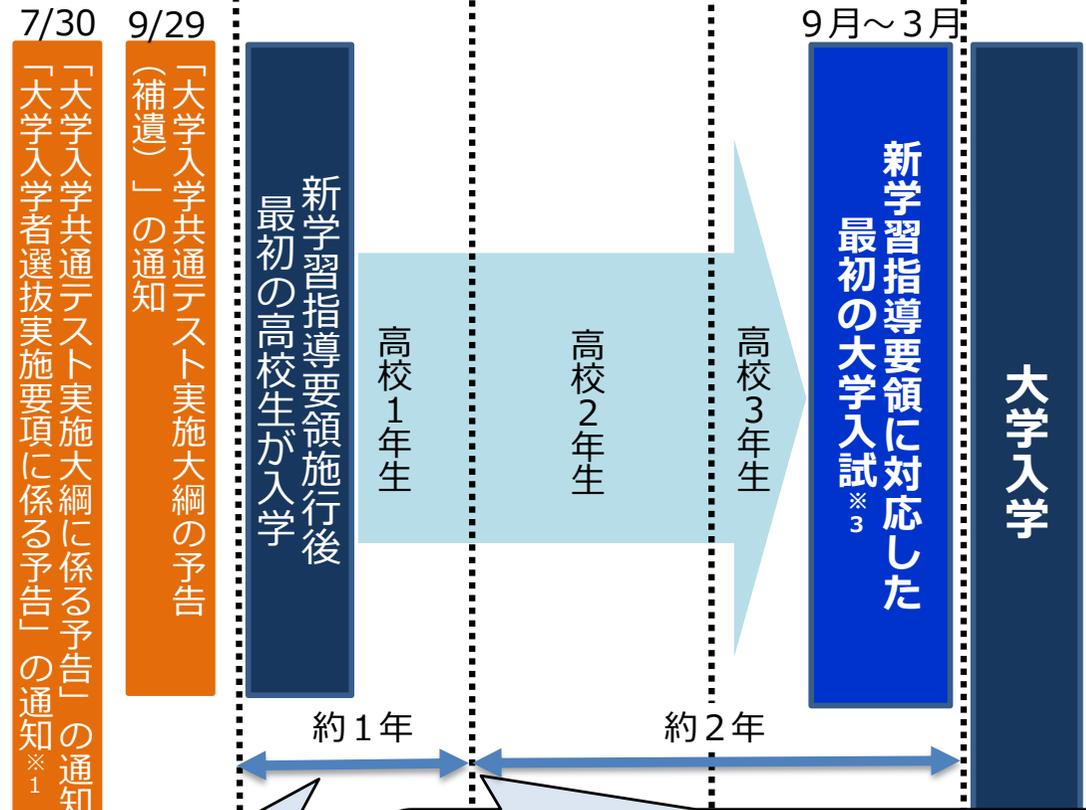
12月27日 設置

1月15日 第1回

月2回程度開催

- 委員からの意見発表
- 外部有識者からの意見聴取
- Web意見募集
- 選抜区分ごとの実態調査 など

7月8日 提言とりまとめ



2年前予告を可能にするためには、国は、遅くとも更に1年前には、制度改革について、各大学に予告する必要

2年前予告ルール
 大学は、個別学力検査及び大学入学共通テストにおいて課す教科・科目を変更する場合は、2年程度前には予告する必要。その他の変更についても、入学志願者保護の観点から可能な限り早期の周知に努める（大学入学者選抜実施要項）

※1 実際の大学入学者選抜実施要項は、入試実施年度の6月頃に文部科学省より通知
 ※2 実際の大学入学共通テスト実施大綱は、入試実施の前年度の6月頃に文部科学省より通知
 ※3 総合型選抜：9月以降出願 学校推薦型選抜：11月以降出願 大学入学共通テスト：1月 一般入試：2・3月

大学入学共通テストへの『情報Ⅰ』の導入について

- IoT・AIの進化やビッグデータ活用などSociety5.0に向けた技術革新や、グローバル化の急速な進展が我々の生活や産業の変革をもたらしている。

こうした社会の変化を踏まえて、高等学校においては、新学習指導要領において、問題の発見・解決に向けて、事象を情報とその結びつきの視点から捉え、情報技術を適切かつ効果的に活用する力を全ての生徒に育む「情報Ⅰ」が必修科目として設けられた。

また、大学においても、文理問わず、全ての学生が身に付けるべき教養教育として、「データ」をもとに事象を適切に捉え、分析・説明できる力を修得するため、「数理・データサイエンス・AI」のモデルカリキュラムが策定されるとともに、その普及を促進するため教育プログラムの認定制度も開始されたところである。

- 上記のような高等学校教育、大学教育の動向を踏まえると、今後、大学において、情報に関わる資質・能力について、大学教育を受けるために必要な基礎的な能力として捉え、国語、数学、英語等と同様に、大学入学者選抜の過程でその能力を評価・判定していくことも考えられる。

- 大学入学者選抜の中で、大学入学共通テストは、高等学校段階における基礎的な学習の達成の程度を判定し、大学教育を受けるために必要な能力について把握することを目的として、これを利用する大学が共同して実施するものとして位置づけられている。

新しい高等学校学習指導要領の下で学習した生徒が初めて大学受験する令和7年度入学者選抜に合わせて、大学の判断により、大学入学共通テストを利用して、情報に関わる資質・能力を評価・判定することができるよう、大学入学者選抜協議会における協議を経て『情報Ⅰ』を導入することが決定された。

令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱の予告【概要】

(令和3年7月30日付3文科高第471号 文部科学省高等教育局長通知)

新学習指導要領に対応した出題教科・科目

令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストの出題教科・科目は以下のとおりとする（『簿記・会計』『情報関係基礎』については出題しない）。

| 出題教科 | 科目（6教科30科目） ～令和5年度実施 | |
|------|--|--|
| 国語 | 『国語』 | 1科目を選択 |
| 地理歴史 | 『世界史A』 『世界史B』 『日本史A』 『日本史B』 『地理A』 『地理B』 | 地理歴史及び公民から最大2科目を選択 ※同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできない。 |
| 公民 | 『現代社会』 『倫理』 『政治・経済』 『倫理, 政治・経済』 | 1科目を選択 |
| 数学 | 『数学Ⅰ』 『数学Ⅰ・数学A』 ① | ①から1科目を選択 |
| | 『数学Ⅱ』 『数学Ⅱ・数学B』 ② 『簿記・会計』 『情報関係基礎』 | ②から1科目を選択 |
| 理科 | 『物理基礎』 『化学基礎』 『生物基礎』 『地学基礎』 ① | A: ①から2科目を選択 B: ②から1科目を選択 C: ①から2科目及び②から1科目を選択 D: ②から2科目を選択 |
| | 『物理』 『化学』 ② 『生物』 『地学』 | |
| 外国語 | 『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 | 1科目を選択 |



| 科目（7教科21科目） 令和6年度実施～ | |
|--|---|
| 『国語』 | 1科目を選択 |
| 『地理総合, 地理探究』 『歴史総合, 日本史探究』 『歴史総合, 世界史探究』 『地理総合, 歴史総合, 公共』 | 地理歴史及び公民から最大2科目を選択 ※「地理総合, 歴史総合, 公共」を選択する場合は、出題範囲（「地理総合」、「歴史総合」、「公共」）のうち、いずれか2科目の内容の問題を選択解答。 ※2科目を選択する場合は、以下の組合せ以外の出題科目の組合せを選択。 ・『公共, 倫理』と『公共, 政治・経済』の組合せを選択することはできない。 ・『地理総合, 歴史総合, 公共』を選択した者は、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできない。 |
| 『公共, 倫理』 『公共, 政治・経済』 『地理総合, 歴史総合, 公共』（再掲） | |
| 『数学Ⅰ, 数学A』 ① 『数学Ⅰ』 | ①から1科目を選択 ※数学Aについては、2項目の内容（図形の性質、場合の数と確率）に対応した出題とし、全てを解答 |
| 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』 ② | ※数学B及び数学Cについては、数学Bの2項目の内容（数列、統計的な推測）及び数学Cの2項目の内容（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）のうち3項目の内容の問題を選択解答 |
| 『物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎』 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』 | 最大2科目を選択 ※『物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎』を選択する場合は、出題範囲（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」）のうち、いずれか2科目の内容の問題を選択解答 |
| 『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 『情報Ⅰ』 | 1科目を選択 |

●試験形態は、引き続き、問題冊子及びマークシート式解答用紙を使用し、PBT（紙ベース）。
『英語』については、ICプレイヤーを使用する試験も実施。

令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱の予告（補遺）【概要】

（令和3年9月29日付3文科高第701号 文部科学省高等教育局長通知）

1. 実施期日 **2日間**

2. 出題教科・科目の試験時間

- 国語：現在測定している内容を維持した上で多様な文章を提示する観点から、**90分**（現行：80分）
- 数学②：出題範囲が「数学Ⅱ」、「数学B」及び「数学C」となり、選択解答する項目数が2から3へ増加するため、**70分**（現行：60分）
- 情報：出題範囲や他教科の試験時間等を考慮し、**60分**（新教科）

| 教科 | 出題科目 | 試験時間 |
|------|--|--|
| 国語 | 『国語』 | 90分 |
| 地理歴史 | 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合、歴史総合、公共』 | 1科目選択 60分 2科目選択130分 (うち解答時間120分) |
| 公民 | 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合、歴史総合、公共』（再掲） | |
| 数学 | ①『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』 | 70分 |
| | ②『数学Ⅱ、数学B、数学C』 | 70分 |
| 理科 | 『物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 | 1科目選択 60分 2科目選択130分 (うち解答時間120分) |
| 外国語 | 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 ※『英語』については、ICプレーヤーを使用する試験も実施。 | 80分 【ICプレーヤー使用試験】 60分（うち解答時間30分） |
| 情報 | 『情報Ⅰ』 | 60分 |

3. 現行の教育課程履修者への経過措置

- 現行の教育課程（平成21年3月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程）を履修した入学志願者に対しては、**経過措置問題を出題**

| 教科 | 旧課程履修者が選択できる経過措置科目 |
|------|--|
| 地理歴史 | 『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』 |
| 公民 | 『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』 |
| 数学 | ①『旧数学Ⅰ・旧数学A』、『旧数学Ⅰ』 |
| | ②『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧数学Ⅱ』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』 |
| 情報 | 「社会と情報」「情報の科学」に対応する経過措置を講じる。 ※『情報Ⅰ』とは別に、『旧情報（仮）』として出題することを、大学入試センターが決定（令和3年12月17日） |

※理科：必要に応じて、現行の教育課程履修者が選択解答可能な問題を出題する場合がある

『情報Ⅰ』の経過措置の取扱いについて（抄）

（令和3年9月29日大学入学者選抜協議会決定）

令和7年度大学入学者選抜に係る共通テスト出題科目『情報Ⅰ』の経過措置

令和7年度大学入学者選抜に係る共通テストから新たに『情報Ⅰ』を出題するに当たり、既卒者に経過措置問題を作成することについては、新教育課程の「**情報Ⅰ**」と現行の教育課程の「**社会と情報**」「**情報の科学**」の**目標、内容等が大きく異なること**、前年度までは**共通テストの試験科目として課されることのなかった科目が出題**されることなど、**従来の経過措置とは異なる点があるが**、既卒者、卒業見込み者の双方に配慮し、以下の点を踏まえた上で、**既卒者のうち希望する者に選択可能な経過措置問題を出題**することが、**より適切であると判断**される。

- (1) **大学入試センター**は、新教育課程における「**情報Ⅰ**」及び現行の教育課程における「**社会と情報**」「**情報の科学**」の、**それぞれの科目の目標、内容等に基づき、既卒者が選択可能な経過措置問題を作成**する。経過措置問題の作成は、**他教科と同様、1年に限る措置**とする。その際、既卒者用に経過措置科目を出題するか、『**情報Ⅰ**』の試験問題の中に既卒者用の選択問題を出題するかは、今後、大学入試センターにおいて検討する。
- (2) **得点調整**については、**実施を望む意見が多いことを十分踏まえつつ、大学入試センター**において、得点調整の対象とするかどうか及び対象とする場合の方法について、**専門家の意見を聞いて検討**する。
- (3) 大学入試センターは**令和4年度中に試作問題（経過措置問題を含む）を公表**する。
- (4) **各大学は**、『**情報Ⅰ**』の取扱いも含め、令和7年度大学入学者選抜において利用する共通テストの科目について、大学入試センターにおける上記（1）、（2）の検討状況も勘案しつつ、文部科学省から本年7月30日付けで通知されているとおり、**2年程度前を待たず、可能な限り早期に決定**し、各大学のホームページ等で公表する。また、各大学は、令和7年度大学入学者選抜における『**情報Ⅰ**』の利用に当たっては、本協議会における協議の経過も参考に学内で十分に検討した上で、それぞれの**アドミッション・ポリシー等に基づき、利用の考え方について明確にするよう努める**。
- (5) **各高等学校は**、既卒者となった場合には新たに『**情報Ⅰ**』の経過措置問題が出題されることについて、**生徒への周知に努める**。

令和7年度大学入学共通テスト得点調整対象科目について

(令和3年12月17日 大学入試センター公表)

- 大学入試センターにおいて検討を行い、以下の □ で囲っている教科内の科目を得点調整の対象科目とすることを決定。

| 教科 | 経過措置科目 | 新課程科目 |
|------|--|--|
| 国語 | — | 『国語』 |
| 地理歴史 | 『旧地理A』 『旧日本史A』 『旧世界史A』 『旧地理B』 『旧日本史B』 『旧世界史B』 | 『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』 『地理総合、歴史総合、公共』 |
| | 『旧現代社会』 『旧倫理』 『旧政治・経済』 『旧倫理, 旧政治・経済』 | 『公共、倫理』 『公共、政治・経済』 『地理総合、歴史総合、公共』(再掲) |
| 数学 | ① 『旧数学Ⅰ・旧数学A』 『旧数学Ⅰ』 | 『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅰ』 |
| | ② 『旧数学Ⅱ』 『旧数学Ⅱ・旧数学B』 『旧簿記・会計』 『旧情報関係基礎』 | 『数学Ⅱ、数学B、数学C』 |
| 理科 | — | 『物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎』 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』 |
| 外国語 | — | 『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 |
| 情報 | 『旧情報(仮)』 ※現高校1年生の選択必修科目「社会と情報」「情報の科学」に対応する内容。 | 『情報Ⅰ』 |

※得点調整を実施する場合の条件や方法については、別途定める。